

～ あなんまちなみ芸術祭 ～

街の新しいイメージを発信するため、アーティストや地元学生が空き店舗にて個性豊かなアートを制作・展示。街づくりにはアートの付加価値を取り入れ、「何もない街」から若者の集う「おもしろい街」への展開が、地域住民を呼び込む起爆剤となった。

所在地：徳島県阿南市富岡町トノ町24-2
 TEL・FAX：0884-22-1684
 URL：—
 組合員数：56名
 商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

阿南市の中心に位置し、JR阿南駅の西側約1,500mにわたって生鮮食品をはじめ物販店を中心に店舗が点在している。高齢化が進む地域住民の生活インフラを支えてきたが、市役所や高校が近接する好立地であることから、周辺に相次いで進出した大型商業施設に客足を奪われていることに加え、後継者不足が廃業店舗の増加に拍車をかけている。

中心市街地への行政機能の集約が本格化するなかで、域外から当該エリアへの人の流れに漸次的ながら大きな変化を迎えつつあり、地域を担う近隣の学生や若者が参加できる新しいイメージのまちづくりの一環として本事業を実施した。



実施した事業の概要

【阿南富岡まちなみ芸術祭】

商店街の空き店舗や空間を活用し、国内で活躍するアーティストをはじめ、地元の子供や若者の協力を得ながら、平成26年7月27日から9月7日の期間にワークショップを開催してアート作品を制作。8月12日から9月15日の期間に作品を展示して、新しい街のイメージを発信した。期間中、ギャラリーと化した商店街には、約700名の地域住民が徒歩で展示会場を観て回り、「アートの街」として芸術をより身近に感じてもらった。

①ワークショップ

県内の学生が企画運営に協力。著名な蛭子能収氏など4名のアーティストを招聘した5つのワークショップを開催し、作品を見るだけでなく、アート制作を体験することが可能な芸術祭にした。期間中、老若男女問わず延べ112名の地域住民がアートの作成に参加し、芸術への関わりを深めた。

②アーティスト・コラボ作品の一般展示

9箇所の空き店舗の内外を会場とし、蛭子能収氏をはじめ、様々なスタイルの造形アーティストなど9名の作品を展示したほか、地元の小学生が描いた未来の海中都市を特殊ライトで浮かび上がらせる「子供幻想水族館」を造作するなど、個性豊かな空間芸術を展示して来場者を引き付けた。

③高校生の作品展示

近隣高校をはじめ、県東部において芸術クラブを有する5校の高校生が、2箇所の空き店舗で「当商店街の未来の可視化」「親指」などをテーマにしたユニークなオブジェ作品や絵画を展示した。

④大学生の作品展示

徳島県にゆかりがあり、美術を専攻している3大学の学生に空き店舗の空間を生かした現代アート作品発表の晴れの場として提供した。



成果と成功の要因

街の新しいイメージが地域住民に認識され、企画運営に参加した近隣の学生や若者達からは今後も商店街活動に参加したいとの声も上がっている。会員の減少が続く中、商店街だけでは取り組みなかつたまちづくりが可能となり、事業を継続する意義について、行政や地域住民の理解を得るまでに至った。

成功の要因は、著名なアーティストの作品展示だけでなく、アートを介した自己表現の場を提供し、商店街に無関心だった地元の子供や学生を積極的に参加させて「創る過程を共有」できたことである。ユニークな作品の制作や展示を通して人の交流を促し、学生を含む地域住民が商店街に大きな関心を寄せる契機となり、結果として来街者の増加につながったものと推察する。

今後の取り組み

近隣の学生との連携を前提に芸術祭の企画の拡充を図りつつ、作品たる「もの」と「まち」を創る力を育み、「アートの街」の定着に向けて取り組む。空き店舗を活用したレンタルアトリエの開設、さらに各個店が作品の展示・販売など芸術との関わりを深めた店舗運営の推進などを検討しており、芸術家が集える商店街を目指していく予定である。